



▲「完璧じゃないところがいいんです」と入所者を前に芸を披露するメンバー

笑いあり涙あり！昔懐かしいメロディで癒します

多久ちんどん芸能隊！施設を訪問

多久ちんどん芸能隊が7月4日、住居型有料老人ホーム 杏の丘多久（東多久町）を訪問し、日頃から磨き上げた芸を披露しました。多久ちんどん芸能隊は、昨年結成。座長の“みやちゃん”を筆頭に、フレッシュモモコさん、おのぶさん、ちんどんオミワさんの4人で構成。サックスやギター型のキーボード、チンドン太鼓、タンバリンで昔懐かしの曲を演奏しながら練り歩き、見物者と交流しながら芸を披露します。今回は、7曲と南京玉簾を披露。曲の合間には絶妙のトークで入所者の笑いを誘っていました。

座長のみやちゃんと宮口昭博さんは「多久の綺麗どころを集めました（笑）。みんなの喜ぶ顔が一番嬉しい。息の長い活動にしていきたいです」と語られました。

入所者からは「久しぶりにちんどん屋さんば見た。笑いすぎてお腹のいたか～っ」と大盛況でした。

可憐なバスの花を楽しんで

多久聖廟近くにある聖光寺のバス池に咲く二千年バスの観察会が、6月30日（日）に行われました。

観察会は、平和の象徴であるバスを楽しんでもらおうと『多久 二千年バスを守る会（代表 大川内義章）』の主催で行われ、佐賀城本丸歴史館前館長の杉谷昭さん、聖光寺住職の野中寛應さんによる、二千年バスにまつわる講話や『はなみずき』によるオカリナ演奏会はじめ、バス池や多久聖廟周辺の自然観察イベントなどが行われました。

観光協会主催の『たくさん自然発見塾 in 多久聖廟』ではiPadを使ってチェックポイントでクイズを解きながら聖廟周辺の植物や史跡を観察、探検しました。佐賀市から参加した早川裕さんは、「生き物や植物など見て、触れて親子で楽しめました」と笑顔で語りました。



▲可憐なバスを観察する来場者ら（写真右）、
色鮮やかなピンク色の二千年バス（写真左）

社会を明るくする運動メッセージ伝達式

7/1

6/27

7月の強調月間に合わせ、市役所にて社会を明るくする運動メッセージ伝達式を行いました。

伝達式には、横尾市長はじめ、小城・多久地区保護司会多久支部、更生保護女性の会、小城警察署多久幹部派出所所長らが参加。柴田藤男保護司会多久支部長からは谷垣法務大臣によるメッセージ、市丸悦子更生保護女性の会会长からは古川康佐賀県知事のメッセージが横尾市長に伝達され、横尾市長のメッセージが保護司会のみなさんに託されました。

式後、保護司会のみなさんは市内学校や企業を訪問し、横尾市長のメッセージを伝達しました。



JAXA宇宙飛行士 古川聰さん 小中一貫校開校記念講演会

JAXA宇宙飛行士の古川聰さんを講師に、第3回佐賀県宇宙学校が中央小学校（校長太田春美）で開催されました。

古川さんから、無重力の宇宙船内で投げたボールに素早く追いついてバットで打ち、再びボールをキャッチする「一人野球」の動画や、船内の掃除、食事などの説明に児童生徒らは目を輝かせていました。

児童生徒からは、「宇宙食はどういうメニューがありますか？」など多くの質問が出されていました。講演会は、東部校・西渓校からも参加しました。

